

脳の可塑性を促す発達支援と家族支援

早産児への身体的関わりの実際 — NICUからフォローアップまで —

講義＋赤ちゃん人形を用いたハンズオン実技で、早産児とご家族を支える「身体の見方」と「関わり方」を学ぶ1日

開催概要

- 日時**
2026年11月1日（日）
9:00～16:00
- 会場**
ポバース記念病院 南館リハビリテーション室
大阪市城東区東中浜1-6-5
- 対象**
NICU・早産児フォローアップに関わる医療職（医師・療法師・看護師・助産師・保健師）
- 定員**
30名 少人数ハンズオン

参加費

SPIN会員	¥15,000
非会員	¥18,000

持ち物

- 赤ちゃんの人形（メルちゃん等でも可）
- 水分／筆記用具／昼食
- 動きやすい服装でご参加ください

お申込みはこちらから
(Peatix)



spin-seminar20261101.peatix.com

申込期限：2026年10月30日（金）
19:00

早産児は明らかな神経学的症状がなくても、成長とともに姿勢・運動・感覚・遊び・親子の関わりに偏りや困難さが見えてくる場合があります。本セミナーでは、症状が現れてから支援を始めるのではなく、NICU退院前後の早期から脳の可塑性を支える理学療法と家族支援を行うことを基本コンセプトに、在胎32週未満・重大な合併症のない早産児とご家族を想定し、修正2歳頃までの支援を学びます。

1 このセミナーで学べること

- ✓ NICUから退院後まで切れ目なく続く早産児の神経発達支援
- ✓ 脳の可塑性を支える身体的な関わり
- ✓ 遊びや親子の関わりを通じた発達支援
- ✓ 早産児の姿勢・運動発達の特徴と注意すべき所見
- ✓ 姿勢・運動・感覚入力を個別に調整する方法
- ✓ 保護者の不安・育児負担に配慮した家族支援

講義に加え、赤ちゃん人形を用いたハンズオン実技を実施。画一的な訓練ではなく、一人ひとりの発達特性に合わせた調整方法を実践的にお伝えします。

2 プログラム

時間	内容	講師
9:00-9:30	NICU退院前後から始める早産児の神経発達支援	出口 貴美子
9:30-10:00	早産児の運動発達の特徴と異常の見わけ方	荒井 洋
10:00-12:00	ハンズオンセミナー〈前半〉	永島 智里・アシスタント
12:00-13:00	昼休み	
13:00-15:50	ハンズオンセミナー〈後半〉	永島 智里・アシスタント
15:50-16:00	質疑応答・まとめ	

3 講師

出口 貴美子

キッズ＆ファミリークリニック
出口小児科医院 院長
一般社団法人早産児神経発達学会 代表理事

荒井 洋

社会医療法人大道会 ポバース記念病院 院長
一般社団法人早産児神経発達学会 理事

永島 智里

キョポバースセンター 代表／ポバース記念病院 教育主幹
小児ポバース国際インストラクター

実技担当理学療法士：兵頭 冴香・山口 輝多（キッズ＆ファミリークリニック出口小児科医院）／佐藤 拓馬・木滑 智哉（社会医療法人大道会 ポバース記念病院）

懇親会（希望者のみ）

10月31日（土）開催予定・会費5,000円。会場・時間は後日ご案内します。

病院見学（希望者のみ）

ポバース記念病院を昼休みまたはセミナー終了後にご案内します。

※コンビニ／ATMでのお支払いは全チケット販売締切の1日前までとなります。土日祝日等の銀行振込反映にもご留意ください。 ※お支払いいただいた参加費は、いかなる場合も返金いたしかねます。 主催：一般社団法人早産児神経発達学会（SPIN）／協力：社会医療法人大道会 ポバース記念病院